

自己負担額のシミュレーション

事例：有床診療所において、1,300㎡を対象面積として通常型スプリンクラー（消火ポンプユニット有り）を25,000千円の事業費（工事費）で整備した場合

<自己負担額>

自己負担額は、次の計算により、12,500千円となります。

（計算式）

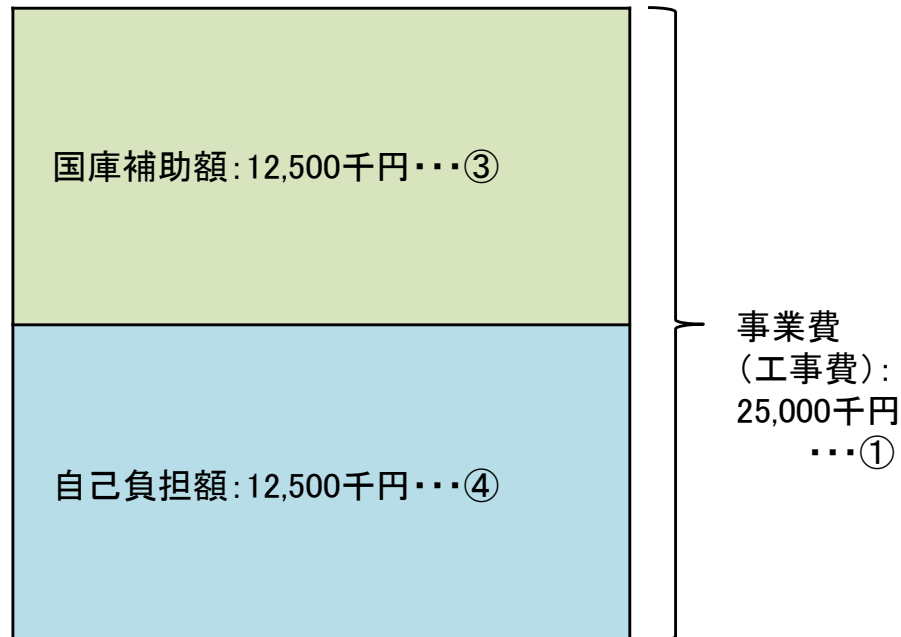
事業費（工事費）：25,000千円・・・①

基準額：1,300㎡×21,400円/㎡+2,174千円=29,994千円・・・②

国庫補助額：12,500千円・・・③（=①、②の低い方×1/2）

自己負担額：12,500千円・・・④（=①-③）

（負担割合）



※ 自己負担額12,500千円について、優遇融資を活用する場合の返済シミュレーション結果は次のとおりです。

※ 次の例は、診療所（耐火構造）の最大償還期間（据置期間）である 20年（1年）、金利1.5%（R6.7.1現在）でシミュレーションした例であるため、実際の条件については、（独）福祉医療機構へご相談ください。

<融資可能額>

自己負担額×95%= 11,875千円

（3,000千円以上20,000千円未満は500千円単位で切り捨てのため、融資可能額は11,500千円）

<返済額が最大となる借入2年目の返済例（元金均等償還の場合）>

・Aパターン

（償還期間20年、据置期間1年の場合）

→元金600千円+利子168千円 = 768千円

・Bパターン

（償還期間20年、据置期間3か月の場合）

→元金576千円+利子160千円 = 736千円